

東京府知事芳川正
都府役所長後場
ハ空戸新留ノ者アルハ左
ト通有之儀條此旨相連候事
（自略ス）
東京府知事芳川正

學位ヲ授與セシ人名左ノ
發行

愛媛縣平民 三崎龜之助
大坂府平民 山田喜之助
岐阜縣平民 三和 親本
山口縣士族 井原 師義

大坂府平民 石川彌太郎
愛媛縣士族 橘 桧三郎
新潟縣士族 藤澤利喜太郎

靜岡縣士族 石川千代松
新潟縣平民 熊倉 恭三
石川縣士族 長崎 桂
大坂府士族 中島 謙造

愛知縣士族 原田 慎治
高知縣士族 和田 義軌
（以下次號）

一月十九日 第四十八回
月廿五日
新舊患者死亡
一〇〇
一四二
九一
一九
三三
二八〇
五六〇
一六
一〇六

一月十九日ヨリ廿四日ヨリ
一週三拾三人内廿九人
一月十九日ヨリ廿四日ヨリ
都大阪ノ三府及ヒ兵庫神奈
越前秋田石川嶋根岡山愛媛
人ノ過キス

政府及ヒ山口新潟兵庫福岡
月五日ヨリ全十八日ニ至ル
月五日ヨリ全十一日ニ至ル
三月二十九人兵庫縣ハ全週間
入鳳島縣ハ十月廿九日ヨリ
十二人ナリ
口ノ二縣ニハ熊本縣ハ十一
週間百〇九人山口縣ハ全週
内務省衛生局

時事新報

日本支那ノ關係

日本支那兩國ノ交際ハ近年益々密接ニ至リ隨テ其關係漸ク
困難ヲ加ヘタル様ニ思ハル、ナリ明治四年時ノ大瀛野伊
達宗城君が清國ニ使シテ現行ノ日清條約ヲ締結シタル時
マデハ兩國ノ交際實ニ微々タルモノニシテ、有ルガ如ク
又無キガ如キモノナリキ是ヨリシテ兩國人民ノ往來外交
ノ事務等モ次第ニ繁多トナリ明治七年臺灣征討ノ舉アル
ニ至リテ俄然其模様ヲ改メ遂ニ戰場ニ相見ルノ沙汰ニ及
ブベキ有様ナリシニ幸ニシテ時ノ内務卿大久保利通君ガ
能ク使清ノ命ヲ全クシテ歸朝シタルヲ以テ既ニ絶ツベカ
リシ交際ハ爾後却テ其親密ヲ増シ日出ル處ヨリ日没スル
處ニ至ルノ間片雲モ人目ヲ遮ルナカリシ際琉球兩屬ノ
議論漸ク世上ニ喧シク明治十二年琉球藩ヲ廢シテ沖繩縣
ヲ置テヨリ此論遂ニ日支兩國間外交上ノ一問題ト成ルニ
至リタリ時ニ米國前大統領「グラント」將軍ハ新聞記者ヨ
シグ氏（今ノ北京駐劄米國公使）ヲ伴ヒテ世界ヲ周遊シ偶
マ北京ニ來着シタル折柄支那政府ヨリ琉球ニ關スル日支
兩國間ノ紛議仲裁ノ事ヲ將軍ニ懇囑シタリトカニテ尋デ
將軍ガ我日本ニ來着ノ折我政府ノ諸君ト右紛議ノ仲裁ニ
關スル談話モアリシヤコ風説スレハ爾後今日ニ至ルマデ
果シテ「グラント」將軍ガ此仲裁ヲ試ミタルコトアリシカ誠
ハ尙ホ之ヲ試ミツ、アルカ事蹟ニ現ハル、程ノ明白ナル
次第ハ一向ニ我輩ガ知ラザル所ナリ然レハ近日我輩ガ清
國ヨリ得タル報章ニ依レバ支那政府ハ兼テ米國政府ヲ信
ズルコト薄カリシガ近來ハ一層甚メキチ加ヘタリ其原因
ニアリハ米國政府ガ其國內ニ於テ支那人ヲ遇スルコト甚
マ其當テ得ズ恰モ人間ヨリ劣リタル一種ノ動物ト視做
スガ如キ所置アルハ兼テ支那政府ガ肝ニ銘シテ其恨ヲ忘
レザルコトナルニ本年ニ至リ米國政府ノ不法漸ク増長シ遂
ニ自儘ノ國法ヲ制定シテ支那人ノ來住ヲ禁止シタルヨリ
支那政府ハ最早堪忍ノ袋モ統ビ爾來米國政府ニ對シテ其
怒ヲ色ニ現ハスニ至リタリ是其一ナリ他ノ一ハ先年「グ
ラント」氏ガ北京ニ旅遊ノ折、時トシテ支那政府ハ琉球處
分ニ關スル紛議ノ仲裁ヲ同氏ニ依頼シ清國ノ面目ヲ全ク
セシコトヲ希望シテリシニ同氏ハ當時其依頼ヲ承允シタル
ニモ拘ハラズ一旦日本政府ノ言ヲ聽クニ及ヒテ忽チ其
前言ヲ食ミ却テ日本ヲ保庇スルノ所置アリ輕薄無信實ニ
覺クニ堪エタリトテ「グラント」氏ガ前大統領ト云フテ以
テ氏ノ約束ハ米國政府ノ約束ナリト斷得米國政府ハ支那
政府ニ對シテ言テ食ミタリト云テ大ニ其不平ヲ囑フセリ
是又其一ナリ斯ノ如キ原因ヲ以テ米清兩國ノ交際ハ近
來頗ニ冷却シタルガ如シトアリ此報章中ノ琉球處分ニ屬
スル一環ハ果シテ事實ナルヤ否知ラズト雖モ其分カ事實

ニ近キモノト云ハ、支那政府ガ琉球處分ニ關スル執念甚
ダ深キヨリ知ラズ識ラズ緣故ノ違キ米國政府マテニ斯ノ
如キ恨ヲ衝クニ至リタルナルベシ果シテ然リトセバ此處
分ニ關シ直接ニ其局ニ當リタル者ニ對シテハ何等ノ怨恨
ヲ懷キ居ルヤハ讀者諸君一念ヲテ其大概ヲ想像シ得ベキ
ナリ

據ルベカラザル不理屈ニ據リテ大ニ自家勝手ノ不平ヲ斷
ルハ支那政府ガ慣手ノ技術ナリ琉球事件ノ如キモ相當ノ
手續ヲ經テ疾ク既ニ其處分ヲ完了シタルモノニシテ今更
旨出ツベキ事ナシト雖モ支那政府ノ行爲ハ必スシモ尋常
ノ道理ヲ以テ推測スベキコトアラズ奇異ノ時刻ト奇異ノ場
所トニ於テ突然尋常道理ノ準繩外ニ屬スル不平ヲ提出シ
來ラズトモ請合ヒ難ク殊ニ本年七月以降朝鮮京城ノ變ニ
際シ當局ノ被害者タル日本政府ガ其使節ニ護衛兵ヲ附シ
タルヲ見テ事局ニ關係ナキ支那政府ガ卒然三千ノ大兵ヲ
韓地ニ上陸セシメ自家ノ大ナ特ニ朝鮮ノ小ナ侮リ親友國
タル日本人ノ面前ニ於テ恣ニ國王ノ生父大院君ヲ執ラヘ
テ北京ニ拘致シ或ハ國王ニ諭シ或ハ人民ニ告示スル等自
家ノ臣民ヲ御スルニ異ナラズ爾來今日ニ至ルマデ謂ハレ
モナク京城内ニ大兵ヲ止メ其四門王宮ヲ嚴守スルガ如キ
ハ實ニ道理ノ準繩外ニ屬スル所業ナリト云ハザルヲ得ズ
而シテ彼レ自カラ思テ此準繩外ノ所業以テ日本人ノ肝
膽ヲ寒カラシメタリ敵國ニ交ハルニハ武斷ニ如クモノナ
シトテ揚々自得ノ色アルガ如ク然リ近日我輩ガ聞キ得タ
ル所ニ依レバ天津ノ李鴻章ガ日本人ヲ待遇スルニ近來俄
カニ其趣ヲ異ニシテ十分ノ禮ヲ盡サズ就中朝鮮人ノ見聞
スルコトモアルベキ場合ニ於テハ其暴慢殊ニ甚ク其意大
ニ大國ノ威ヲ示スニ在ルガ如クト或ハ李鴻章ノ周旋ヲ以
テ招商局ヨリ五十万「ター」ノ金員ヲ朝鮮政府ニ貸與シ
或ハ鑛山技術師ヲ派遣シテ韓地ノ鑛鑛ヲ探ラシメ或ハ天
津芝罘仁川ノ間ニ定期航海ヲ開クノ企アリト云ヒ其意取
ノ氣象實ニ前日ノ支那政府ニ類セザルナリ而シテ其目的
ノ所在ヲ尋レバ直接ノ朝鮮ニ在ラズテ間接ノ日本ニ在
リ臺灣琉球事件以來今回朝鮮ノ變ニ至ルマデ日支兩國ノ
關係ハ一步ハ一步ヨリ深ク日ニ困難ノ境ニ入ルモノト云
ハザルヲ得ズ知ラズ我日本政府ノ當路者ハ何ノ國ニシテ以
テ此困難ニ處セザル、ニヤ

雜報

○見行行幸 慶上ニ以當多の降雪日とし、神奈川縣下武
州蓮光寺村邊へ臨時ニ行幸遊心され見物と御儀はしむる
べき旨既ニ御内書と仰出されしに付夫々御支度中ありと
承はれり
○開院宮 岡宮にハ海上御遊幸くある廿八日開院マシ
イニ港へ御遊の旨一昨日其儀へ御儀ありたる事